

# 濟生会だより

～まえばし～

社会福祉法人 群馬県済生会前橋病院  
 〒371-0821 群馬県前橋市上新田町 564-1  
 TEL.027-252-6011 FAX.027-253-0390  
 http://www.maebashi.saiseikai.or.jp



——— 写真がご趣味の患者さん、ぜひ1階地域連携室までご連絡ください。



## ～群馬県済生会前橋病院の理念と基本方針～

### 理念 愛と希望

#### 基本方針

- 一、 私たちは、患者さんに公正な医療を提供します。
- 一、 私たちは、患者さんの人格・意志を尊重します。
- 一、 私たちは、医療の質の向上をめざし、常に努力します。
- 一、 私たちは、地域社会の要望に対応した医療・福祉の充実をはかります。
- 一、 私たちは、互いに信頼し感謝する心で、仕事に取り組みます。

## なつこらむ

【ハギ】 漢字では「萩」。マメ科ハギ属の植物の総称。秋の七草の一つですが、草ではなく落葉低木です。宮城県の県花でもあります。日本の秋を代表する花として古くから親しまれています。万葉集の中でも最も多く詠まれている花です。

花言葉は、思案、前向きな恋、想い、物思い、など。花の色は、紅紫、白。花期は7～10月。

(撮影者：新井利雄さん)



## ご挨拶

副院長 吉永 輝夫

医療崩壊も囁かれる厳しい医療環境、時代に対応すべく当院においても院外処方・ジェネリック薬導入・DPC包括医療制度導入・地域医療支援病院認定など幾つかの変革が矢継ぎ早に行われました。そんな慌しい中、平成21年6月に西田病院長が就任し同時に私も副院長となりました。求められる医療の質と安全を担保しながらの健全な病院経営、それを限られた人的・物的資源でどう実現していくのか、とても難しい命題です。職員一丸となって対処する以外に方法はありません。スタッフの進むべきベクトル軸を如何に調整するか、本質を見極める方向感覚が求められるところです。

そんな中、ゴールデンウィークに始まった新型インフルエンザ騒動はパワーアップし、季節外れの大流行を迎えています。その影響で、毎年行われていた地域の方々との交流会第6回ふれあいデーも中止となりました。近隣の小学生から毎年公募していた絵画展、楽しみにしている職員も少なくありませんでした。そこに登場するのはメタボでヒゲ面の医師、美人看護師、そうでもない看護師

などなど、登場人物はいろいろですが共通しているのはみんな元気はつらつということ。病気の患者さんを元気にするには、まず職員が元気でなければならぬということをお伝えされた気がしました。

元気な職場作りには相応の努力が必要です。試合に備えるアスリートに例えれば、怪我することなく最後まで戦いぬく体力を身に付け、時には戦略的なトレーニングを取り入れるといったところでしょうか。地道な努力こそ報われるべきもの。幸い当院には好条件がそろっています。NSTや緩和ケアなどで培ったチーム力、毎年QCサークル活動で鍛えている現場力、才能を眠らせない教育環境などなど、単なる個人の力の総和を超える相乗効果を醸し出す土壌は整っています。職員一同、さらに進化した元気な職場を目指して頑張ります。これからもご支援の程よろしくお願いします。



コルチカム

# 新型コロナウイルスについてお答えします

感染管理認定看護師  
細渕 節子



## Q1. 新型コロナウイルスとは？

今までのインフルエンザとウイルスの型が異なり、ほとんどの人が免疫を持っていないために、通常のインフルエンザに比べると、感染が拡大しやすく、多くの人の健康に重大な影響を与えるおそれがあるものです。

## Q2. 新型コロナウイルスの症状は？

38度以上の高熱、咳、のどの痛み、鼻水・鼻づまり、倦怠感、関節痛など、季節性インフルエンザと類似しています。ただし、季節性インフルエンザに比べて、下痢・嘔吐などの症状が多いとも言われています。

## Q3. 新型コロナウイルスの感染はどのように広がるか？

季節性インフルエンザと同様、咳やくしゃみとともに放出されたウイルスを吸い込むことによって感染します。またウイルスが付着したものを触れた後に目・鼻・口などに触れることで、粘膜、結膜を通じて感染します。

## Q4. 新型コロナウイルスを予防するには？

- ・手洗い、うがいをしっかりする
- ・人ごみへの外出を避ける
- ・人ごみではマスクを着用する

また症状のある人は「咳エチケット」を守ることも重要です。

## Q5. 新型コロナウイルスは季節性インフルエンザよりも重症化するのか？

ほとんどの方が軽症で回復しています。ただし以下の持病のある方は重症化する可能性があるため注意が必要です。

- ・慢性呼吸器疾患
  - ・慢性心疾患
  - ・糖尿病
  - ・腎機能障害
  - ・ステロイド内服などによる免疫機能不全
- さらに次の方も重症化することがあるとされています。
- ・妊婦
  - ・乳幼児
  - ・高齢者

## Q6. どのような症状がでたら医療機関に相談すべきか？

持病のある方など、感染すると重症化するリスクのある方は、なるべく早めに医師に相談しましょう。

またもともと健康な方でも次のような症状を認めたときはすぐに医療機関を受診してください。

- ・呼吸が早い、息苦しい
- ・嘔吐や下痢が続いている
- ・落ち着きがない、遊ばない
- ・けいれん
- ・症状が長引いて悪化してきた
- ・反応が鈍い、呼びかけに答えない
- ・意味不明の言動が見られる
- ・胸の痛みが持続している

## Q7. 家族が新型コロナウイルスになったらどうすればいいか？

- ・患者はなるべく家族とは離れて過ごし、マスクの着用など「咳エチケット」を心がける
- ・手洗い、うがいを徹底し、マスクを着用する
- ・患者の世話をした後は必ず石鹸による手洗いをする

## \* 「咳エチケット」

咳やくしゃみは目に見えない唾液をまき散らしています。咳、くしゃみが出る人は「咳エチケット」を守りましょう。

- ①周囲の人からなるべく離れる
- ②咳やくしゃみは他の人から顔をそらせ、ティッシュなどで口と鼻を覆う
- ③咳やくしゃみを抑えた手を洗う
- ④マスクを着用する

## 済生会病院受診の際のお願い

発熱のある方、インフルエンザを疑っている方は、通常の外来とは別の場所で診察します。来院されたら、**受付3・4窓口**に症状をお伝えください。診察場所までご案内いたします。また来院時にはマスクを着用し、「咳エチケット」をお守りいただきますようお願いいたします。

# 更なる進歩

## 外科・腹腔鏡外科センターへ ステップアップ

外科・腹腔鏡外科センター  
外科主任部長・センター長  
細内 康男



「医療は患者さんの立場で」をモットーに、拡大手術から機能温存縮小手術まで、個々の状態に応じた治療を行ってきた外科が、7月より「外科・腹腔鏡外科センター」として新たなスタートを迎えました。

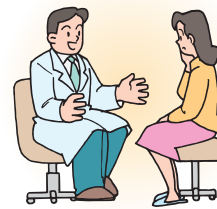
これまで外科では、腹部外科で最も難しいとされる膵癌・胆管癌等に対する膵頭十二指腸切除術を毎年15~20例施行するなど、多くの実績を積み上げ、群馬県内全域から多くの患者さんが手術を受けに来院されました。なかでも、腹腔鏡下手術はこれまでの累積施行数は3000例を越え、全国トップクラスの実績を誇ります。当院で開発した2孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術（通常は4つの孔をあけて手術を行うが、2つの孔で行う）が有名ですが、最近では術式をさらに工夫考案し、傷跡が全く残らない単孔式腹腔鏡下手術を胆嚢摘出術、大腸癌手術、虫垂切除術に開始しています。

腹腔鏡下手術を行える腫瘍性疾患は、胃癌（ステージ1b期までを原則適応としていますが希望により2期までの進行癌でも可能です）、結腸癌・直腸癌（症例を重ねステージ3a期までの進行癌にも適応を拡大し

ました）、膵腫瘍に対する膵体尾部切除術、脾摘出術も腹腔鏡下で数多く施行しています。いずれの手術も臍部縦切開法を施行しますので、多施設に比べより整容性（創が少なく見た目がきれい）に優れ、低侵襲（体に負担が少ない）で安全な腹腔鏡下手術であり、患者さんの満足度は高いものと確信しています。

早期胃癌・早期大腸癌は、まず消化器内科で内視鏡的治療（ESD）が可能かを判断します。胃癌では2008年の年間内視鏡下治療症例は60例余りとなりました。内視鏡的治療、腹腔鏡下手術の比率が低い（即ち開腹手術が多い）病院に比べ、進行度により体に負担が少ない治療が適切に選択されています。

スタッフ一同患者さんのメリットを重視した医療を目指しますので今後ともよろしくお願ひ申し上げます。





# CTを新規導入いたしました

放射線科 塚本 実紀



GE社製 LightSpeed VCT

平成21年9月28日より64列マルチスライスCT（GE社製 LightSpeed VCT）を新規導入いたしました。

この装置は1回転0.35秒で0.625mmの厚みの画像を最大で64枚一度に撮影することができ、現行の装置に比べ撮影スピード、

画像処理能力が格段に上がっています。

現行の装置では腹部の検査（肝臓から骨盤まで）の場合、呼吸の動きがでないように息止めをして撮影をします。今までは息止めをする時間が20秒ほどかかっていました。20秒の息止めは健康な方でも楽なことではなく、状態の悪い患者さんには大変な負担になっていましたが、この装置ではわずか3～4秒の息止めで撮影は終了してしまいます。

また専用のコンピュータを用いて画像データ処理を行うことで、輪切りの画像と同様に高画質な画像ができ、より細かい病気の観察ができるようになりました。



腹部



胸腹部冠状断



胸腹部3D

そして64列マルチスライスCTの最大の特徴は今までの装置ではできなかった心臓の血管（冠動脈）の検査ができるようになったことです。

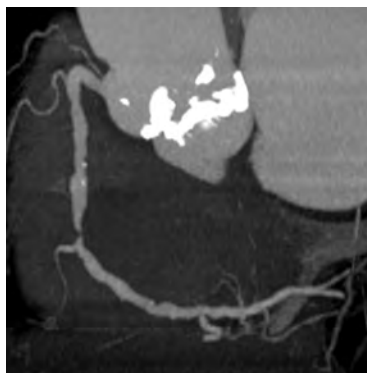
通常、冠動脈の検査には患者さんに入院をしていただき、手首、肘、足の付け根などからカテーテルという管を入れ、造影剤を流して冠動脈を撮影する心臓カテーテル検査が行われますが、この装置では腕からの静脈注射で造影剤を入れて5～6秒間の息

止めで冠動脈の検査ができます。そのためカテーテル検査に比べて患者さんの負担はとて少なくなります。また外来で検査ができること、カテーテル検査より費用がかからないことなど、患者さんにとって多くの利点があります。

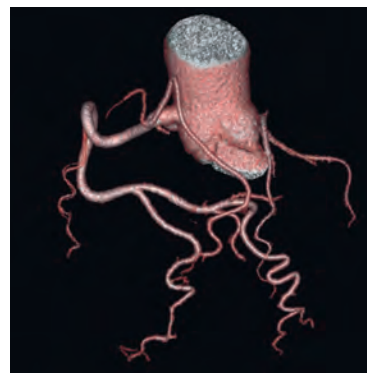
ただし、すべての方がCTで検査を行えるわけではないので担当の医師にご相談ください。



心臓3D



右冠動脈



冠動脈3D

患者さんに安心して検査を受けていただけるようにスタッフ一同努力をし、質の高い医療を提供していきたいと思っております。



# 研修医紹介

研修医 田川 みなみ



今年の4月に初期研修医として入職しました、田川です。

4月から3ヶ月間は循環器内科、それからまた3ヶ月間は血液内科で勉強しています。基本は病棟での業務がメインですが、曜日によっては外来にもお邪魔しています。当院を選んだ理由は一つには地元貢献したいということ、そしてもう一つは当院に特徴的な、各科の専門性の高い医療を経験したいということでした。

研修が始まりまだ半年ですが、国家試験を終え母校を卒業したのが遠い昔のようです。入職時に思い描いていたのはスタッフの一員として、常に誰かの役に立っている自分でした。しかし現実には、自分の知識の無さに体力の無さ、加えて決断力の無さを思い知らされる毎日です。その度に自分は他の

研修医に遅れをとっているのではないかと不安になります。

勿論、医療の現場ではそうも言ってもらえません。時と場所、そして医者を選んでくれる病気などありません。結局、その科のあらゆるスタッフの力に支えられながら、毎日なんとかやっています。

自分がここに居られるのは、指導医の先生方、これまでお世話になったスタッフの皆さん、そして診察させていただいた患者さんのお蔭だと思います。その恩返しの意味でも、研修を終えるまでには、担当が自分でよかったと思ってもらえるような医者になりたいものです。今後も体調管理をしっかりしつつ、頑張りたいと考えています。よろしくお願いします。



アケビ

医療安全対策室の新設に伴い、今年の4月からスタッフの一員として院内の安全対策に取り組んでおります。

毎朝、来院される皆様方と「おはようございます」「おだいじにしてください」等と挨拶を交わす中で、顔見知りの方もでき「一期一会」のありがたさを改めて感じております。

さて、皆様方もご承知のとおり、平成19年11月8日、佐賀県内の病院で入院中の男性患者の方が、暴力団の対立抗争事件に巻き込まれ、誤って拳銃で襲撃される事案がありました。

当時、マスコミ等ではショッキングな事件として報道し、院内の安全対策等に関する問題提起も行われたところではありますが、視聴者の多くの方は病院内での出来事にまずは驚き、その犯行に強い憤りを感じたことと思います。

## 医療安全対策室

安全対策室管理官 大澤

博



従来、病院の施設は安全と思われておりましたが、この事件を契機に「病院の安全神話」に注意信号が灯り、以後、多くの病院が、その対策に乗り出したところであります。昨今、「安全で安心な地域社会」の確立が叫ばれておりますが、地域医療のネットワーク作りを進めている済生会病院も例外ではありません。

そこで、当院としても、防犯・保安機材の導入や職員研修等を通じて、来院される皆様方や入院患者の方々安心して治療に専念できるよう職場環境の整備に努めているところであります。

このところ、マスメディアを通じて、モンスターペイシエント(モラルに欠けた患者)という言葉が耳にするとところではありますが、全国的な傾向として病院も例外ではなく、現在、社会問題化している「院内暴力」に関する実態が改めてクローズアップされるに至っております。

今後、職員をはじめ皆様方のご理解とご支援を賜り、安全で安心な病院の運営を目指し、院内秩序の確立に努めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## ハートtoハートリレー

◆地域の皆様をリレーでご紹介します。

今回は、自治会連合会長**阿部智和さん**にお話を伺いました。



**(編集部)** 自治会連合会長とはどのようなお仕事でしょうか。

**(阿部会長)** 一言で言うと、市と住民とのパイプ役です。例えば、市役所の介護高齢課からの介護に関するものや、その他各課の広範にわたる行政文書（伝達事項）を個人に配付したり、回覧したりします。また、地域の安全、安心の確保、親睦、コミュニケーションを図り、社会的弱者、住民の相互扶助を行う、これを総括しているのが自治会連合会です。

さらには、これを進めていくために防犯、民生委員、青少年健全育成など、17自治会と密接な関係を保ち、協力し合っていくことも大事な役割となっています。

**(編集部)** 日ごろ東地区で行っている活動はどのようなものがありますか。

**(阿部会長)** 「まちの安全をひろげたい」は、近年社会情勢が複雑化する中で地域の連帯感が希薄となり、犯罪が増加傾向にあるため、防犯パトロール隊組織を創設。隊員によるパトロールを実施、下校時の児童安全確保など、警察との連携により、地域犯罪（空き巣、自販機あらし、自転車盗難、車上狙いなど）の未然防止に努めています。

**(編集部)** それでは、少し当院についての感想を

お伺いします。会長さんご自身も当院を利用されますか。

**(阿部会長)** かかりつけ医から紹介され、必要に応じて利用しています。

**(編集部)** 病院にご要望などありますか。

**(阿部会長)** かかったときには、いろいろ説明をしてもらうことがありますが、より一層、医師や他の職種の方からも親切丁寧な説明をしていただきたいと感じています。

**(編集部)** ありがとうございます。いただいたご意見を生かせるよう職員一同努力いたします。

**(編集部)** 最後に今後の抱負などお聞かせいただけますか。

**(阿部会長)** 自治会は地域社会を代表する住民組織であり、生活を支え、生活環境の維持発展並びに個人の住宅や公共施設が存在するだけでなく、子どもが地域社会を学び、そして健全な子供が育つ、そんな環境を作ることが私たちの役目ではないでしょうか。

このように締めくくっていただいた阿部会長さん、その役柄上、日常は多忙を極め、2日に1回は会議などに出席されているとのこと。

そんな忙しい中でも、広報誌回覧のお願いに伺うと、いつでも快く引き受けていただける、ざっくばらんな親しみやすい会長さんです。

当院はこの東地区で診療をしている病院であり、地区内には多くの職員が住んでおり、病院も職員もこの地域に大変お世話になっています。

会長さんには、これからも地域をあたたく見守ってくださるようお願いいたします。

## INFORMATION

前回号でもお知らせいたしましたが、7月21日より地域連携室を一新し、紹介患者さんの対応をよりスムーズに行う体制を整えました。また、登録医として当院と連携している診療所、病院のお名前をプレートの一覧にし、掲示いたしました。同時に当院の登録医を紹介するリーフレットも作成し、専用ボックスを設置しました。

当院にご来院の際は、是非お立ち寄りください。



## 【第2回症例検討会のお知らせ】

日時：平成21年11月24日(火) 19:00～

場所：済生会前橋病院 A棟3階 会議室

講師：腎臓内科部長 菅 真一「慢性腎臓病(CKD)診療のポイント」

循環器内科部長 広井 知歳「虚血性心疾患の診断と治療」

～心臓CTから、カテーテル治療まで～

※医療従事者向けの行事です。一般の方はご参加いただけません。

## 『第1回登録医大会』開催報告

7月17日(金)、当院主催の『第1回登録医大会』を開催しました。

既にお知らせしている通り、当院は本年4月1日から『地域医療支援病院』の承認を得て、『紹介型病院』への転換を進めています。この機能をうまく発揮するには、患者さんを紹介していただく地域の診療所や病院の先生方との情報や意見の交換など、顔の見える連携が不可欠です。

このような先生方と交流を深めるため、7月17日(金)当院主催による登録医大会をマージューホテルにて開催しました。

当日は、当院の登録医約150名が出席し、当院職員70名を合わせ、220名の参加となりました。

大会は2部構成で行い、第1部では国立がんセンター東病院名誉院長、海老原敏先生により“医療に求められるもの”と題して講演がありました。

第2部では、懇親会を開催、地域の医師会長より挨拶、乾杯の発声があり懇親が始まる中、当院の診療への理解を深めるため、病院の概要説明、各診療科代表医師による各科の特徴の説明などを行いました。

最後に、アトラクションとして地域で活動しているグループによる、タヒチアンダンスの披露が行われ、盛況裡に閉会しました。

今後、地域医療の発展、充実のために、地域の医療機関との連携を強化し、市民、県民の皆様のお役にたてる病院を目指し、努力する所存です。

### [登録医・登録医制度とは]

地域のかかりつけ医と当院医師との緊密な連携と、機能、役割を分担して1人の患者さんの治療や経過観察にあたることを目的とした制度です。地域の医師会に所属するかかりつけ医に当院の連携先の医師として登録していただきます。当院においては10月1日現在、前橋市、高崎市、群馬郡、渋川地区の各医師会から455名の医師が登録しています。



# 外来医師診療表

\* 午前の一般外来の受付時間は午前8時30分～午前10時30分です(診察開始は9時です)。  
 \* 午後の特殊外来は完全予約制です。  
 \* 休診日は、日曜日、祝祭日、年末年始、第2・4土曜日です。  
 \* セカンドオピニオン外来のお問い合わせ・お申し込みは地域連携室 (027-252-1751) までご連絡ください。  
 \* 総合外来の担当医師は変更することがあります。

## 午前の一般外来

	内 科			循環器内科		外 科	小児科	整形外科	眼 科	泌尿器科
	総合外来(初診) 9:00~10:30 10:30~12:00		一 般	一 般	睡眠障害外来					
月	高橋	福田	佐倉【血】・菅【腎】	池田		西田 藍原	大島【一般】 鈴木【尊】【循】	後藤 長谷川	榎 石原(美)	鈴木 【群大教授】
火	佐倉	平松	樋口【消】・河合【腎】 神田【消】	福田 広井		細内 平井	大島【一般】	中島 武智	岸【群大教授】 石原(美)	
水	池田	山下	樋口【消】・吉永【消】	福田 宮崎		西田 平山	大島【一般】 鈴木【尊】【循】	中島 増田	石原(美)	
木	田原	初見	家崎【消】・高田【血】 平松【腎】・久田【呼】	福田 池田		細内 持田	大島【一般】	長谷川・武智 白倉【群大教授】 リハビリ【第1,3】	石原(美)	
金	吉永	家崎	初見【血】・矢田【消】	池田【第1,2,3】 福田【第4,5】	福田 【第1,2,3】	細内 持田	大島【一般】 鈴木【尊】【循】	後藤 増田	石原(美)	
土	交替制	交替制	星野【血】・交替制 内分泌【第1,3】荻原 呼吸器【第1,3,5】岡山	福田 池田		乳腺外来 【第3】尾嶋 交替制	第1:大島【一般】 第3:鈴木【尊】【循】 第5:下山【循】	第1:中島・長谷川 第3:後藤・増田 第5:後藤・長谷川	群大	

## 午後の特殊外来

	内 科・循環器内科・心臓血管外科	小 児 科
月	心臓血管外科外来	喘息・アレルギー・慢性疾患
	内分泌外来	大島
火	血液外来	循環器
		鈴木【尊】
水	心臓血管外科外来	喘息・アレルギー・慢性疾患
	ペースメーカー外来	慢性外来
	内分泌外来	大島
	呼吸器外来	下山
木	肝臓外来	循環器
	内分泌外来	鈴木【尊】
		大島
金	腎臓外来	乳児健診(第1,3)
	呼吸器外来	予防接種
		慢性外来
		大島
		下山
		喘息・アレルギー・慢性疾患
		大島
		循環器
		鈴木【尊】

## お問い合わせ

**代表番号** ☎027-252-6011

**患者さんへ**

- さわやか検診のお問い合わせ  
医事課窓口 ☎027-252-6011 内線1101
- 人間ドックのご予約  
検診センター ☎027-252-1959 (直通)

**医療機関様**

- 初診(診察・検査・入院等)のご紹介  
地域連携室 ☎027-252-1751 (直通)
- CT・MRIのご予約  
放射線科 ☎027-252-6011 内線1502

**介護関連**

- 前橋市高齢者福祉サービスのご相談  
地域包括支援プラザあずま荘
- 介護保険サービスに関するご相談  
居宅介護支援事業所あずま荘  
☎027-255-1511

## 交通のご案内

■ 新前橋駅よりタクシーで10分  
 ■ 前橋駅よりバスで20分  
 ■ 高崎駅よりバスで40分

**上信バス時刻表案内**  
 (済生会前橋病院発着予定時刻表)

行先	中央前橋駅行	前橋駅行	高崎駅行
7	×06	46	×05 37
8	26		07 46
9	03	43	26
10	23		06 46
11	43	03	26
12	33		16
13		23	06 56
14		13	46
15	53	03	36
16		33	16 56
17	54	13	36
18	33		16 56
19		13 48	33
20	×29		×11 56

×印は日祝日は連休